

海上ボーリング調査の概要と環境保全対策について
(案)


平成 26 年 6 月 20 日

沖 縄 防 衛 局



土 海 第 3 7 6 号
平成26年 6 月 6 日

沖縄防衛局調達部長
高木 健司 殿

沖縄県土木建築部長
菅 銘 健一郎


普天間飛行場代替施設建設事業に関連する海上ボーリング調査等における環境保全対策の適正な実施について

平成25年12月27日付けで承認した普天間飛行場代替施設建設事業に係る公有水面埋立事業に関連して、今後、海上ボーリング調査等が行なわれるものと認識しています。
ついでには、埋立承認にあたって海生生物の保護対策の実施について万全を期すこと等の留意事項を付していること等に鑑み、下記の点に配慮願います。

記

- 1 海上ボーリング調査等の実施に当たっては、環境保全に十分配慮すること。
- 2 海上ボーリング調査等に伴う環境保全対策の実施状況について、調査実施後に情報提供すること。



海上ボーリング調査の概要

調査目的

- 護岸構造や埋立地盤の安定性の検討に必要な地盤強度等のデータ収集

調査項目

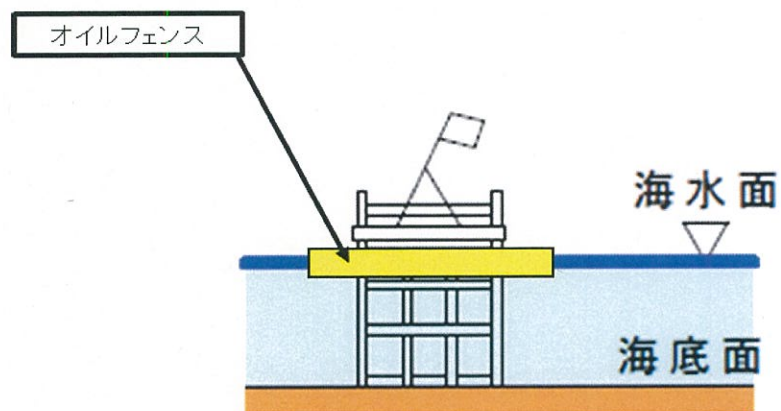
- 海上ボーリング：全体として21カ所
 - 1) 単管足場：9カ所
 - 2) スパット台船：12カ所
 - 3) 66mm孔径については、標準貫入試験
 - 4) 116mm孔径については、標準貫入試験及び不攪乱資料の採取
 - 5) 掘削最大深度：約50m

海上ボーリング調査計画予定位置図

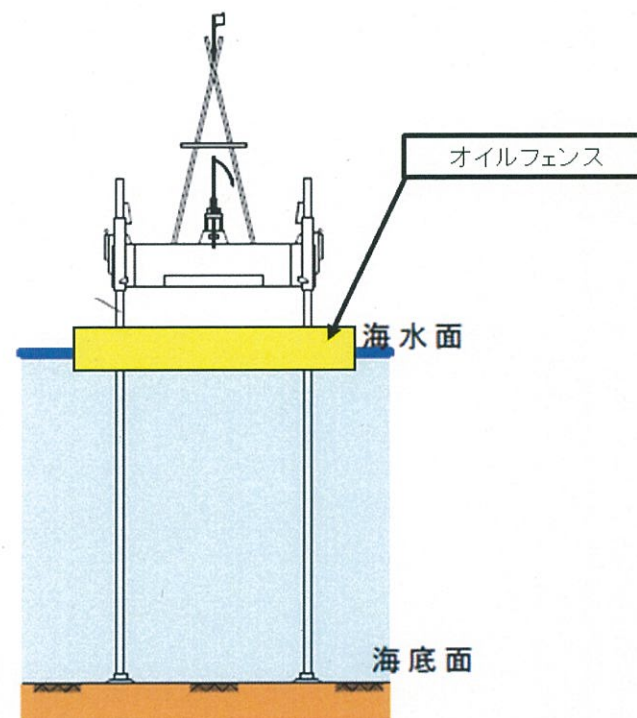
※事業の安全かつ円滑な工事を実施する観点から表示していません。

海上ボーリング調査に使用する作業用足場イメージ図

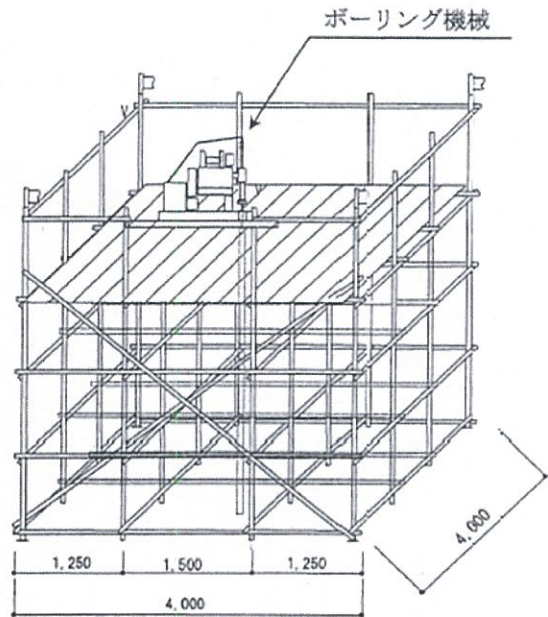
単管足場



スパット台船

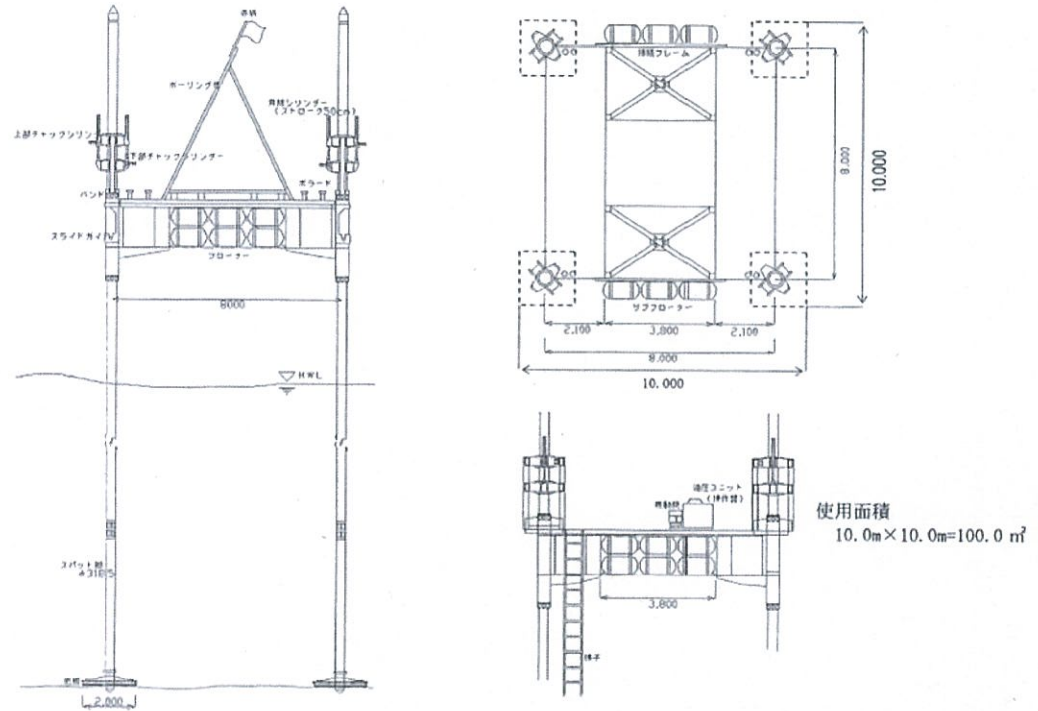


単管足場寸法参考図



接地面積：
 0.0019m^2 (単管断面) * 16カ所 = 0.03m^2

スパット台船寸法参考図



接地面積：
 $2.0\text{m} \times 2.0\text{m}$ (支柱一本の接地面積) * 4カ所 = 16m^2

環境保全対策について

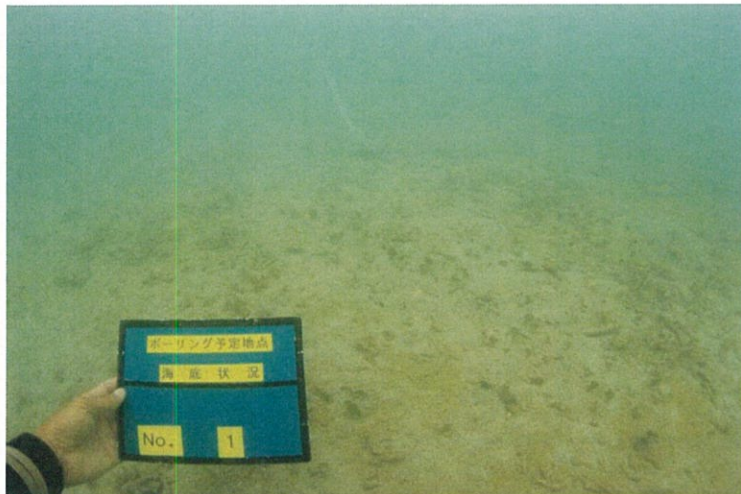
水質汚濁防止に係る措置等水産動植物の保護培養のための対策等

- ・ 作業中の泥水漏れ防止対策として、通常のボーリング(削孔等)の管の外側に、更にガイドパイプ(さや管)を足場上面から海底面まで設置、万一の油漏れに備えたオイルマット及びオイルフェンスの設置等により、海水の汚濁を防止。
- ・ 作業用足場の設置等の海中作業に当たっては、海草藻場・サンゴの保全に十分留意。
- ・ 台風時には、ボーリング用足場を一時撤去することにより転倒を回避。

調査位置については、護岸等の計画位置において計画しており、詳細な位置については、海底の状況を確認し、サンゴ及び藻場等の影響のない箇所である、砂地及び岩礁の平坦部を選定し設置。

設置箇所海底現況写真

NO 1



NO 2

